



瀬谷小だより

6月号

平成30年5月31日
横浜市立瀬谷小学校

地域、保護者とともに

校長 倉岡 ナオミ

5月11日にはガーデンボランティアの方々が、校舎1棟と体育館裏のフェンス沿いにアジサイとヤマブキの苗木を植えてくださいました。殺風景だったところに、素敵なお花の道ができることでしょうか。今からとても楽しみです。



5月17日には読み聞かせボランティア「まんまるはーと」の活動も始まり、子供たちにとって木曜日の朝がすてきな楽しみの時間になりました。

心の栄養ですね。また、同じ日に、第一回の学校運営協議会を開催いたしました。地域とともにある学校として、学校の教育活動に加え、家庭や地域の教育力や財を最大限に生かした教育を実践することで、子供たちの健やかな育ちを確かなものにしたいと考えています。そのために、学校、保護者、地域住民が連携・協働していこうと、今年度に設置されたものです。協議会では、今年度の学校運営について説明させていただき、承認を得ました。委員の方々から、いろいろな御意見をうかがう中で、特に異学年交流についての成果を評価していただき、経営方針に自信をもつことができました。今後は、児童の様子を実際に見ていただきながら、気づいた点をお知らせいただき、経営に生かしていきたいと思っております。また、地域、保護者の皆様にも児童の学習に力を貸していただき、一緒に瀬谷小の子供たちを育てていきたいと考えておりますので、御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

5月28日の音楽朝会では、いつも子供たちの登下校を見てくださっている見守り隊の方々を紹介させていただきました。昨今のいろいろな事件を聞くにつけ、こうして地域で子供たちの安全を見てくださっている方々がいらっしゃることに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

このように、瀬谷小学校の教育活動は、多くの方々の力に支えられています。本当にありがたいことだと思います。これらの活動をしてくださる方々の根本にあるものは、純粋に子供たちのためという思い、愛情なのですね。対価や見返りを期待するものではなく、親の愛情にも似た、与えきりのものです。心から感謝申し上げます。私が目指す「心きらきらSYS」で、どのような心を、きらきらしている



と言うのか、についてですが、その中に「ほかの人のために自分の力が使えること、そして、それを喜びと感ずることができること」が入っています。まさに地域、保護者の方々の姿が学びになります。

入梅も近いことでしょうか。うっとうしい季節も心は晴れやかでいたいものです。